

新規・継続等	新規	分野	ため池の補強等	事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(ため池)							
市町村名	麻績村		ふりがな 箇所名	まつくらいけ 松倉池		事業年度 (完了年度は見込み)	H23	年度～	H25	年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	堤体工 L=46m ・ 波除護岸工 L=76m ・ 取水工 1箇所 ・ 洪水吐工 1箇所					H22年度末事業進捗率	0%						
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%						
	H23年度実施内容	測量・設計 1式					用地補償費ベース	-						
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度	H23年度		H23年度以降					
	事業費計(千円)	130,000		0		0	19,000		130,000					
財源内訳	国庫支出金	65,000		0		0	9,500		65,000					
	その他	45,500		0		0	6,650		45,500					
	県債	17,000		0		0	2,000		17,000					
	一般財源	2,500		0		0	850		2,500					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課					
								ランク	評点	ランク	評点			
	必要性 (20)	想定被害区域への影響度	■ 人家・公共施設あり			□ 人家公共施設のいづれか			A	15	A	15		
		直接被害区域内での被害発生度	■ (様式4) 3項目以上該当			□ (様式4) 2項目該当							5	5
		小計												
	重要性 (15)	ため池の依存度	□ 依存度 大			■ 依存度 中			B	5	B	5		
		ため池受益面積	□ 100ha以上			□ 40ha以上100ha未満							3	3
		地震区分	□ 地震防災対策強化地域			■ その他								
	小計							8	8					
	効率性 (10)	防災効果(B/C)	■ 1.2以上			□ 1.1以上1.2未満				A	4	A	4	
		早期発現度(効果発現まで)	□ 3年未満			■ 3年以上5年未満			2					2
		ローカルスタンダード(L.S.)計画及びコスト縮減及び代替案検討等	■ (様式4) 3項目以上該当			□ (様式4) 2項目該当								
	小計							9	9					
	緊急性 (35)	堤体の状況	■ 堤体材料 粘質土			□ 堤体材料 礫質土				B	1	B	1	
			■ 堤高5m未満			□ 堤高5m～10m			1					2
			■ 堤長50m未満			□ 堤長50m～100m								
		ため池流域比	□ 220～			□ 170～220			2	2				
			□ 60～120			■ 10～60					15	15		
		ため池の危険度	■ (様式4) 4項目以上該当			□ (様式4) 3項目該当			15	15				
		□ (様式4) 1項目該当						5			5			
ため池流域崩落履歴	■ 数年起きに崩落あり			□ 過去10年に崩落履歴あり			5		5					
小計								25		25				
計画 (20)	地域からの要望	■ 地域住民の内発的な活動が強い			□ 市町村からの要望がある				B		6	B	6	
	事業情報の共有	□ 関係者以外に広く周知			■ 関係者を中心に周知			3		3				
	住民参加の状況	□ 住民が計画策定に直接参加			■ 住民や市町村の意見を計画策定に反映									4
	小計							13		13				
費用対効果(B/C)	1.41			評価の合計			A		75		A	75		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	松倉池は約123年前に築造され昭和47年及び平成11年に部分的な改修が行われ現在に至る。老朽化が著しく堤体からの漏水や洗掘が進行し、堤体決壊の危険性があることや、地元農業の要であるため、地元からの改修要望が高まり、事業実施に至った。												
	地域からの要望経緯	平成19年度に下井堀区とため池を管理する下井堀区水理組合から麻績村へ改修要望が出されている。また、県において、平成21年度にため池危険度調査を行い要改修度AAと判定された。												
	事業説明等の経緯	松倉池の改修に対応する為に、地元説明会を平成21年12月に開催し、今後実施に向けた意見交換を行い工事に反映させていく方針となった。												
	環境・景観への配慮項目	平成21年8月の環境調査の結果、希少種は確認されておらず、工事に関して特に留意する必要は無いが、工事範囲を最小限に留めるなど環境へ配慮する。												
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。												
	特記事項	特になし。												
地域の合意形成	■ 全員賛成			□ 概ね賛成			□ 過半数賛成		□ 動向不明		□ その他			
部意見	堤体からの漏水や陥没が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。					政策評価課見	必要性が高い。							